

2018年10月14日

## 報告書

### 道頓堀リバーフェスティバル テラプロジェクトスペシャル PRステージ

#### ＜企画＞

一般社団法人 大阪活性化事業実行委員会からの依頼により道頓堀リバーフェスティバルで、テラプロジェクトの取組をPRするためのステージを企画、実施しました。一般社団法人 大阪活性化事業実行委員会は、日本版 DMO の認定を目指す地域活性化団体です。テラプロジェクトがテーマとする「植・食・健康」分野の産学連携によるモノづくりや地域のコトおこしについてイベントへの協力要請がありました。

#### ＜目的と方法＞

一般社団法人 大阪活性化事業実行委員会からの依頼に基づき、これまで交流の少なかった難波地域の企業や大学、各省庁や行政へのPRや交流を目的に、産経新聞社と連携し、大阪スクールオブミュージック専門学校生、羽衣国際大学のPBL(Project Based Learning)を履修する学生と共に、ステージを演出およびPRブースの企画をしました。

インターネット配信による情報発信は、国連広報局(UNDPI)承認機関・国連の友(Friends of the United Nations)Asia-Pacific と提携するNPO 法人カレッジフェスタが配信するインターネット TVFRESH LIVE 番組「カレッジフェスタ放送局」を通じて行います。PRステージには、中学生編集長のRinka 編集長と中学生シンガーソングライター北村來嶺彩とカレフェスガールズが出演します。（＊「カレッジフェスタ」とは、日本全国の大学、短期大学、専門学校対象の学生達に学校の壁を取っ払って学生達が交流でき、イベント(学園祭、文化祭)を通じ学生の力で社会貢献をする活動です。）

大阪大学産業科学研究所発の人工知能(AI)作曲による音楽も発表します。

#### ＜実施＞

##### 道頓堀リバーフェスティバル テラプロジェクトスペシャルステージ

日時：平成30年10月13日(土) 16:00～16:30

：平成30年10月14日(日) 12:00～12:30

場所：道頓堀戎橋特設ステージ

主 催：一般社団法人 大阪活性化事業実行委員会

共 催：大阪市商店会総連盟、産経新聞大阪本社、よしもとクリエイティブ・エージェンシー、ほんまもんバル実行委員会、いっとこミナミ実行委員会、NPO 法人道頓堀水辺地権者会

後 援：2025日本万国博覧会誘致委員会、公益財団法人大阪観光局、FM OH! (FM OSAKA)

協 力：南海電気鉄道(株)、鳥取県、大阪難波ロータリークラブ、一般社団法人テラプロジェクト

特別協賛：イオン株式会社、ベルクラシックグループ

協 賛：合同会社日本 MGM リゾーツ、(株)エディオン、大起水産(株)、リバー産業(株)、(株)高島屋 大阪店、(株)丸井 なんばマルイ、大阪シティ信用金庫、(株)コスモコーポレーション 他



会場：戎橋特設ステージ



総合司会：月亭ハ光、宇都宮まきによるテラプロジェクト紹介

10月13日



PR ステージ： 産学官連携による社会貢献活動を PR



連携協定先： 羽衣国際大学 学生による活動 PR



大阪スクールオブミュージック専門学校生による連携活動 PR①



大阪スクールオブミュージック専門学校生による連携活動 PR②

10月14日



会場:道頓堀 戎橋会場



PRステージ：産学官連携による社会貢献活動をPR



PRステージ：カレッジフェスタ カレフェスガールズによる社会貢献プログラム体験①



PRステージ：カレッジフェスタ カレフェスガールズによる社会貢献プログラム体験②



PRステージ：中学生シンガーソングライター北村來嶺彩によるテラプロジェクト応援ソング



PRステージ：大阪大学産業科学研究所発、人工知能(AI)作曲によるテラプロジェクト産学連携活動応援ソング



PR ステージ協力: 谷町キッズ楽団、南海松ノ浜あすとホールダンス教室 U'sn



产学連携による社会貢献活動 PR ゾーン: 稲穂実りのゾーン設置



産学連携による社会貢献活動 PR ゾーン: 地域交流



産学連携による社会貢献活動 PR ゾーン: 国際交流



テラプロジェクト PR ブース



テラプロジェクト PR ブース前



地域交流ゾーン



地域交流会

#### <考察>

道頓堀リバーフェスティバル PR ステージの企画実施に際し、産経新聞社をはじめ、難波周辺の企業、自治体の関係者と良好な関係を築くことができました。イベント来場者数は、約 80 万人。2 日間のイベントを通じテラプロジェクトの社会貢献活動 PR や、産学連携による成果物の展示、発表が出来ました。

産学連携による共同研究や社会貢献活動に興味のある企業や自治体との連携を深め、富国生命ビル 4 階の施設利用者の増加へとつなげたいと思います。